



議員 木下 正盛 喜納

任命。推進委員は新しい農業委員の臨時総会で選任後、農業委員会より委嘱の予定。

**問** 昨年12月、民生・児童委員の改選があつたが、定数不足の現状をどう捉えているのか。

**福祉部長** 一斉改選の結果、定数66名に対して54名に委嘱。3年前より10名増えたが、担い手不足の深刻化を危惧。

**問** 坂田認定こども園が開園したが、運営に課題等はないか。次年度の南幼稚園の移行準備はどう進めていくのか。

**総務部長** 現時点で特段の課題等はない。西原南幼稚園の移行状況は、昨年度中から運営法人の選考作業を行な

い、令和5年4月3日付で運営法人の候補者の決定を終えた。

**問** 各自治会への行政補助金、事務委託料の算定基準と今年度の総額は。

**総務部長** 月額4万5千円の書記設置費、人口一人当たり90円の活動費、自主防災組織立上げ時3万円、継続時月額1万円で総額2,077万9千円。事務委託料は均等割7万3千円、世帯割一世帯当たり180円で総額6,177万4千円で合計8,255万3千円を計上。

**問** 去る5月11日の環境衛生関係市町村理事協議会で、八重瀬町へのごみ焼却施設、最終処分場建設断念がなされたが、町長の見解は。

メートル程度で殆どが私有地である。これまで里道部分についてはアスファルト部分に開いた穴埋めの維持管理等を行つており、砂利道というのは恐らく私有地部分だと思われる。指摘の道路周辺には住宅・商工業・あるいは保育園・教会等が立ち並び、また近隣の資材ヤード等から大型車の通行も多いが、未整備道路のため側溝もなく補修

を繰り返している状況にある。当該道路の事業化に向け調査計画を実施し、どのような事業が展開できるのかを検討して行く。それまでの間は維持補修で対応していく。

**その他の質問**  
○農道の新設について



幸地 1043 番地付近の旧道



から谷那堂橋に向かう私道



坂田認定こども園

**町長** 平成30年度から進めてきたが、断念は深く受け止めている。東部環境美化センターの施設も老朽化しており、早期に新炉建設が実現できるように進めていく。

町政全般について

**問** 農業委員会の農業委員11名、推進委員5名の改選の年にあたる。選任の準備は進んでいるか。

**建設部長** 5月31日まで推薦公募を行い、候補者評価委員会を開催し、その後、農業委員は9月定例会に選任議案を提出、議会の同意を得て町長より

県道29号線、町移管確認について

**問** 町移管に伴う具体的な計画と進捗状況について問う。

**建設部長** 旧県道の町移管については、平成20年9月に県より協議書が提出されており、同年10月に町より県に対し、主要地方道那覇北中城線の整備後に、旧県道等の管理を引き受ける



議員 山根 好樹 与那嶺

事業を行うに当たっては、町内路線への優先度、適合する補助事業の有無等を基に事業の可否を検討していく。

幸地1043番地入口付近から谷那堂橋に向かう私道について

**問** 幸地1043番地入口付近の道路について問う。

**町長** 当該道路は、里道幅約2

工場誘致の現状を聞く

難であり、3市3町で構成している理事協議会で具志頭地区の候補地を断念、新たな候補地を選定することになった。

焼却施設建設地の選定を聞く。

**町長** 現最終処分場がある南城市及び次期最終処分場輪番制により建設自治体の八重瀬町を除く豊見城市、糸満市、西原町、与那原町の4市町から推薦する。

東部清掃組合の建替えを聞く。

**町長** 老朽化が著しい中、新たなごみ処理施設の供用開始までの間、既存施設の延命化を図っていく。

工業地域拡大等を聞く

**問** 現在の小那覇工業地域の面積を聞く。

**建設部長** 158.8haで、南西石油株式会社、西原浄化センターを除く小那覇工業適地面積が昭和60年3月30日指定で78.6ha。

329号西原バイパス事業の進捗状況と今後の取組みを聞く。

**建設部長** 329号西原バイパス事業は、令和3年に事業着手し、令和4年11月には用地幅員の杭設置に係る説明会を実施した。今年度は、用地測量、物件調査等を進め用地交渉の予定である。

**その他の質問**  
○コロナワクチン接種について  
○自動販売機による寄付金について



議員 久比 満 屋

ごみ処理施設・最終処分場施設建設を質す

**問** 南部広域行政組合の最終処分場等を聞く。

**町長** 組合では令和元年8月に、ごみ処理施設及び最終処分場として具志頭地区に決定した。同地域にある養豚業者の66億円の移転費用の負担が困